

自民23議席 歴史的惨敗

■都議選の党派別当選者数

	計	候補者数	改選時	前回当選
共産党	19	37	17	17
自民党	23	60	57	59
公明党	23	23	22	23
民進党	5	23	7	15
都民ファ	49	50	6	-
ネット	1	4	3	3
維新	1	4	1	2
社民党	0	1	0	0
その他	0	17	0	7
無所属	6	40	13	1
計	127	259	126	127



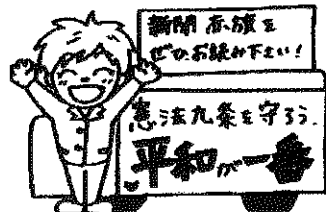
その他は諸派。改選時欠員1。都民ファには選挙後の追加公認分は含まない。

2017年7月発行
NO. 10

日本共産党神川支部
連絡先
0495(77)2248
川浦 まさこ



生活相談
お気軽に
ご相談下さい



次は解散・総選挙によって 国民に審判を仰ぐべきではないでしょうか

9条改憲

許さない運動を

日本国憲法

日公布 昭和21年11月3日

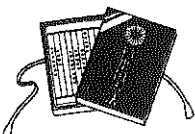
日施行 昭和22年5月3日

第二章 戦争の放棄

第九条
「戦争の放棄、戦力及び
交戦権の否認」

1 日本国民は、正義
と秩序を基調とする国際
平和を誠実に希求し、国
権の発動たる戦争と、武
力による威嚇又は武力の
行使は、国際紛争を解決
する手段としては、永久
にこれを放棄する。

2 前項の目的を達す
るため、陸海空軍その他
の戦力は、これを保持し
ない。国の交戦権は、こ
れを認めない。



～川浦のきもち～

都議選最終日、安倍首相は、最初で最後の街頭演説で「こんな人たちに負けるわけにはいかない！」と叫びました。この発言は民主主義の根本を否定するもので、言語道断です。ある方は「“こんな人たち”の怒りが世の中を良い方向へ変えていこうとするエネルギーを持っているんだ！」と言っておりました。

7月3日月曜日早朝、辻立ちをしているわたしに、「都議選よかったね」「共産党頑張ったなあ」などの声掛けをして下さる方や車からガッツポーズを送って下さる方がいました。国政私物化、憲法破壊の政治を続けさせるわけにはいきません。市民と野党の共闘を進め、解散・総選挙を実現して安倍政権に審判を下すことが必要です。大衆の怒りのエネルギーを神川からも発信して形にしていきたいです。

pick up!

産地に広がる不安 日欧EPAとは

日本と欧州共同体(EU)のEPA(経済連携協定)は、2013年5月に始まりました。交渉分野は、農産物や自動車などの関税撤廃問題だけでなく、TPP(環太平洋連携協定)のような幅広い分野を含むものになっています。交渉は水面下で行われています。ルール分野も危険なものが多く含まれています。一部は市民団体の活動によって交渉文書が明らかになっています。それによると、医薬品・医療機器の特許問題、食品安全基準・表示、鉄道事業への参入、人口10万人上の自治体にたいする国際入札の義務化などが交渉の俎上に載せられています。日本では広く利用されている自主的な共済組合についても、“民間保険会社と同じ競争条件”との項目もあります。

子育て期からの地域包括ケアシステムについて

(川浦) 神川町の総合計画の基本施策2「健康で安心に満ちたまちづくり」では、生活習慣病の予防から障害者の就労や社会参加の支援、またこれまで以上の各種福祉サービスの充実など、さまざまな課題方針がでてきます。そして、神川町が目指す地域包括ケアシステムでは、高齢、介護、障害、子ども、健康の各分野での計画の一体的な運用を視野に入れていきます。また、建物に目を向けますと、保健センターは狭いという声を聴きます。診療所の老朽化状況もあります。また、現在ある総合福祉センターは主に高齢者利用ですので、総合福祉の拠点にはなっていないと思います。ぜひ一体的な運用に向けて、また支援の必要な方にきめ細やかなサービス提供ができるように、拠点づくりと福祉分野の組織強化をして頂きたいと思えます。例を挙げます。神奈川県小田原市「生活保護なめんな」問題で、小田原市職員も「不正受給の取り締まりこそが市民に役立つことと考えていた」という方が多かったそうです。何が問題であったかお分かりかと思いますが、またこの問題に対して市に届いた意見のうち54%が批判で、ほか職員擁護が46%あったそうです。神川町の医療系職員も患者をどなります。介護や保険分野も町長は連携を取っていると言いますが、本当に住民の立場、住民目線ですか。患者や支援の必要な方は、複雑な問題を抱えていたり、病で気持ちが悪さぎ込んでいます。この対応で正しいか、地域おこしの音楽関係に、職員の方が「専門の内容なので、口をはさめない」

と言っていたことがあります。自分は素人だと。医療も介護も音楽にも良くして頂きたいと思えます。質の向上し職員間の連携を深め、新たな知識や解決法を学んで支援に生かして頂きたい。そのために一つのフロア、また組織編成で住民に寄り添って頂きたいと思えます。いかがでしょうか。

(町長) まさに議員のご指摘のとおり、今の神川町の状態では、いこの郷、診療所、保健センター、そして本庁舎というふうな形で、それぞれが個々に対応しているわけですが、またそこに弊害といえますか、自分の仕事以外に余りかわらない、人の領域を侵さないという意識、これはよく言われるように縦割り行政ですね、こういう弊害も出てくることは事実でございます。これから総合計画等もございませう。そういった中で文言を盛り込んでいきたいというふうに思えます。

交通事故防止策

について

(川浦) 神川町では高齢になって車が必要であり、生活に車が欠かせない方が多く、運転免許証も講習前検査で認知症のおそれがなければ更新できますか。運動機能や認知機能は年齢と共に衰えることは否めません。また、高齢ドライバーだけでなく、すべてのドライバーに対して、安全運転を心がけて頂くことが第一ですが、停止線やセンターライン、横断歩道等をはっきり書き直して頂き、事故防止につなげて頂きたいと思えます。

また、群馬県の中高生の自転車事故は、二年連続ワースト一位です。考えられる理由として、家用車の保有台数が全国トップであることと自転車通学の生徒が多いこと(毎日新聞2017.6.1付)とありました。神川町も状況は同じではないですか。歩道、自転車道の整備、除草や樹木の剪定、側溝のふたの整備もすすめて頂き、町でできない箇所は県や公安委員会にも申し入れをして頂きたいと思えます。

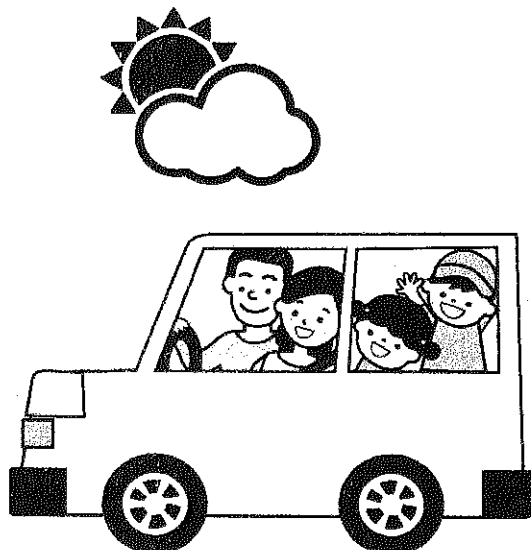
(町長) 県道鬼石線では、中途半端な歩道で非常に危険性を感じています。途中切れているところは地主さんと話がついた所から進めています。新しく設置できない所や、古い段差のある歩道の解消、追い越し禁止の黄色いライン、横断歩道停止線等は公安委員会に要望していきませう。利用者双方にも交通安全の意識を持って通行して頂きたい。

国道254号藤武橋

渋滞解消について

(川浦) 国道17号神流川橋は、本庄道路バイパス事業があり、期日は未定だが用地買収中で、17号の東へバイパス4車線の計画だと県土整備事務所に伺いました。国道254号藤武橋について群馬県側に伺いました。補修中ではかえや、拡幅の予定はない。国道254号バイパス期成同盟会がおとしできたが、渋滞解消の必要性は理解しているが、まだまだ進んでいない、との話でした。少しでも早く計画になるにはどうしたらよいかと伺いましたところ、組織がもつと動けば、とのことでした。

ぜひ国や県に働きかけを強め、協議も進めて頂きたいと思えます。
(町長) 254号バイパスは以前からの地域住民の願いで、一昨年やつと、藤岡市、神川町、本庄市と3市町が連携をとれましたが、まだ概略です。ですが政治のせいにするわけではないけれど、群馬県も埼玉県も県南は非常に充実して、県北が遅れているのは現実です。3市町の連携を強化し、粘り強く県・国に要望を伝えていきます。



お知らせ

日本共産党神川支部川浦まさこ宛の、住民アンケート用紙を町内4千枚配りました。7月末が締め切りです。ご協力をどうぞお願いします。日本共産党は要望実現のために頑張ります。

